

洞 爺 湖 町 社 協 だ よ り



平成26年
1月発行
(第18号)

年 頭 の ご 挨拶

社会福祉法人洞爺湖町社会福祉協議会 会長 菅原康次



輝かしい新春を迎え、地域の皆様に新年のご挨拶を申し上げます。

洞爺湖社協は、毎年各種の事業を展開していますが、実施に当たってはボランティアさんをはじめ、多くの町民の皆様への支援をいただいていることに対し、心から感謝申し上げます。

昨年、社協では平成26年度から平成30年度までの間に、取り組む事業を実践計画としてまとめました。厳しい時代の中の福祉活動の実践は、なかなか難しいこともあると思いますが、理事・評議員の役員及び職員全員が一致して取り組む決意でございます。今年一年が、皆様にとって幸多い年になることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

やさしさあふれる健康福祉のまちづくり- 地域福祉実践計画の策定 -

社会福祉協議会（以下、社協）では、平成25年度に地域福祉実践計画を策定するため、今後の社協が実施する具体的な事業について、10名の策定委員とアドバイザー（町福祉担当職員1名）をお願いをして策定委員会を設け、約半年間にわたり検討を重ねてきました。

策定については、町が先に定めた地域福祉計画と同じテーマとし、町と社協が同じ目線で福祉を眺めてその中から将来の町の姿やそこに住む住民の未来像を想像して、これからどんなことをしたらよいのか、社協として何を担当するべきなのかなどを議論しました。

地域福祉実践計画は、平成26年から平成30年までの5ヶ年間にわたる計画であり、これを念頭において、地域と社協がより近づき、やさしさのあふれる健康福祉のまちづくりが推進されていくことを目指します。



夏目町市長から菅原康次
会長へ計画書の答申

まちの支援活動を知り 安心して暮らせる地域を- 福祉委員研修会開催 -

昨年12月4日、町内の福祉委員の皆様を対象として第2回福祉委員研修会を開催しました。

本研修会は、洞爺湖町地域包括ケア会議（町主催）と合同で開催され、民生委員児童委員や福祉委員等の関係者、行政、町内の介護サービス支援に関わる方々が一堂に会し、いま地域で取り組まれている支援活動として、温泉8区自治会「のぞみふれあいサロン」や入江1区自治会「みまもり隊」をとりあげ、町内の高齢者やその家族を支えるしくみづくり推進に向けたネットワークのあり方などについて学びました。



研修会の様子

発 行 : 社会福祉法人洞爺湖町社会福祉協議会

本 所 : 〒049-5604 虻田郡洞爺湖町栄町63番地1 健康福祉センターさわやか内
電話76-4363 FAX76-4368 メール toyako-sha.abuta@jupiter.ocn.ne.jp
洞爺支所 : 〒049-5802 虻田郡洞爺湖町洞爺町132番地2 洞爺ふれ愛センター内
電話82-5185 FAX82-5895 メール toyako-sha.toya@piano.ocn.ne.jp

ホームページ : <http://www15.ocn.ne.jp/~toya.sha/>



募金総額 2,585,447円

平成25年度の赤い羽根共同募金運動は、昨年12月31日をもって終了いたしました。

町民の皆さまの温かいご支援とご協力のもと運動を展開させていただきましたこと厚く御礼申し上げます。

集計の結果、募金の総額は、2,585,447円でした。

この募金の約70%は、地域福祉の推進を目的に、高齢者、障がい者、子どもたちなどへの福祉活動をはじめ、地域で様々な福祉課題に取り組むボランティアへの支援に役立てられます。

なお残りの約30%は、私たちの住んでいる地域を超えた、より広域的な課題を解決するため全道規模の活動に使われているほか、その一部を毎年「災害等準備金」として積み立て、災害発生時の支援活動のための資金や被災した福祉施設の復旧支援などに活用いたします。

○平成25年度の募金実績内訳

募金種別	目標額(円)	実績額(円)	備考
戸別募金	2,231,000	2,199,502	封筒募金2,201件/大口募金44件/自治会一括17自治会計2,262件
法人募金	160,000	272,000	各企業様からの大口募金
街頭募金	20,000	23,875	10月13日(町内3カ所)
その他	30,000	56,010	募金箱(25カ所)
その他	0	24,060	寄付金付商品(募金バッチ60個分)
学校募金	0	10,000	虻田中学校様
合計	2,441,000	2,585,447	—

皆さまのご協力まことに
ありがとうございました。



歳末たすけあい運動

- 共同募金委員会 -

平成25年度の歳末たすけあい運動は、昨年12月末日をもって終了いたしました。募金にご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。

募金総額は、264,803円でした。

○ご寄付いただいた団体等をご紹介します○

寄付者氏名	金額	寄付者氏名	金額
伊達市遊技業組合様	50,000円	泉クラブ様	9,803円
西胆振消防組合洞爺湖支署 管理職一同様	5,000円	民生委員児童委員一同様	38,000円
洞爺湖町役場特別職一同様	10,000円	連合洞爺湖支部様	50,000円
洞爺湖町役場管理職一同様	82,000円	合計	264,803円
明るい社会づくりを推進する会様	20,000円		

歳末見舞金の贈呈

社会福祉協議会では、平成25年度歳末たすけあい運動によりお寄せいただいた善意の浄財を昨年末、各地区の民生委員さんにご協力をいただき、町内で年末を迎えるにあたって生活に支援を必要とされる方々(11世帯)へ歳末見舞金としてお届けしました。

※順は受付順です

「愛・ランドセル事業」を実施

洞爺湖町共同募金委員会にお寄せいただいた歳末たすけあい募金を浄財に、社会福祉協議会では、母子・父子家庭の生活の安定と児童福祉の増進などを目的に、今年4月に新一年生になるお子さんがいる世帯に対して新品のランドセルを贈る「愛・ランドセル事業」を実施しています。平成25年度は、希望された11世帯へランドセルを贈呈させていただきました。



洞爺湖町自治会連合会の各種事業をピックアップ!

サロン活動について先進地に学ぶ-自治会連合会視察研修-

自治会連合会では、住民活動の推進に役立つ研修や自治会役員相互の交流などを目的に、視察研修を実施しています。

本年度は昨年9月に「サロン活動」をとりあげ先進地として安平町を訪問し研修しました。

研修では安平町のサロン活動の現状をお聞きし、情報・意見交換が行われました。参加された方々からは「はじめてみたい」、「いま検討しています」などの声がありました。

また鉄道記念館（安平町）や王子製紙苫小牧工場（苫小牧市）などを見学。それぞれのまちがどのように発展してきたか等を肌で感じました。



研修・意見交換会の様子

「森と湖の恵み」を次世代に-自治会連合会研修会-

平成25年度の洞爺湖町自治会連合会研修会が、昨年11月24日、町内42自治会の役員約120名余りが参加して行われました。

本研修会は、自治会活動の様々な課題の解決や、自治会相互の情報交換などを目的に毎年開催しており、今年は「洞爺湖町の自然環境」をテーマに酪農学園大学の吉田剛司教授よりご講演をいただきました。講演では、洞爺湖周辺に住む鹿等の生物多様性を考え、多様な恵みとなるものをどのように次世代に残し、引き継いでいくかなどを学びました。



研修会の様子

感謝と長年の功績を讃えて-自治会連合会表彰-

各自治会役員で長年にわたり自治会の運営に協力し、自治会活動に参加し、貢献された方への感謝と功績を讃え、昨年11月24日自治会連合会研修会席上で洞爺湖町自治会連合会表彰式が行われ、本年度は42自治会より63名の方が受賞されました。

また同席上において北海道町内会連合会長表彰の伝達式を行い、奥山 耕一様（温泉3区自治会長）が自治会組織会長表彰、洞爺第6自治会（菅原 優会長）、緑沢自治会（木須 薫会長）、川東自治会（菅蒲川武志会長）の3自治会が優良単位・ブロック組織表彰の伝達を受けました。

◆平成25年度受賞された方々をご紹介します◆

・本町1区

工藤 憲静 様 佐藤 博幸 様
吉田 清正 様 清水 武良 様
多田 康之 様 柴口 和孝 様
橋浦 加代子様 佐々木睦男 様
鈴木 ミツ 様 佐々木五十男様
牧野 貞之 様

・入江4区

井村 鉄男 様 阿部 俊昭 様 谷内 和義 様
佐藤 克美 様 佐藤 トミ 様 谷内 照子 様
大和 栄子 様 加賀 恵子 様 松永 菊芳 様

・泉 区

池田 繁男 様 大塚 修 様 国岡 貞美 様
下山 一男 様 結城真利子 様 山浦 悦子 様

・本町3区

小林 てる子様 山口 芳行 様
齋藤 裕一 様 山口 憲一 様
渋谷 幸一 様 岡田 コト子様
矢野 春代 様 中野 鞠枝 様
土生 工 様 岡部 悦行 様
島村 昌勝 様 羽田野久子 様
徳田 ミヤ子様 吉田 ハツ工様
岡部 幸恵 様 丹野 幸太郎様

・温泉8区

若木 昭夫 様

・洞爺第4

堀家 潔 様
塩田 満 様

・洞爺第6

加藤 保 様
武川 正人 様

・洞爺第3

米谷 敏充 様 篠原 和郎 様
鈴木 敏明 様 東畑 晃 様

梅田 光憲 様
上名 耕司 様

和泉 清志 様

・青葉1区

阿部 トヨ 様 新 祥子 様
長崎 千代子様 片岡 セイ子様
乾辺 三雄 様 楽木 宏治 様

・曙

竹田 利春 様

・成 香

丸田 博光 様

・大 原

大西 寛 様



今年のバス視察旅行は時代劇の世界へ！？

昨年9月、胆振身体障害者福祉協会洞爺湖支部バス視察旅行が行なわれました。

例年この旅行は、道内近隣の名所や工場などを見学し見聞を広め、会員同士の交流と親睦を深めることを目的に実施しています。

今年は登別伊達時代村を訪れ、時代劇などの世界感を体験。その後は、地獄谷を見学し、同じ温泉地の魅力を満喫しました。



時代村内の芝居小屋などを巡り、世界観を堪能！

胆振西部3町が研修と交流

昨年10月に豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町の胆身協各支部会員が一堂に会し、胆振西部研修交流会が開催され、当支部から15名が参加し、研修と交流をしました。

交流会では、会員全員で「青い山脈」合唱を披露。プレゼント抽選会では豪華景品を当てるなどをして楽しみました。



会員全員で「青い山脈」の合唱を披露しました。

洞爺湖町ボ連協活動紹介！

炊き出し実施好評

洞爺湖町高齢者運動会（町主催）が昨年10月21日、母子の館で開催され、昼食時に町ボランティア連絡協議会会員による炊き出しが行われました。



（昼食時の配膳の様子）

炊き出しは、豚汁を作り、参加者全員に提供し会場からは「美味しかったです」と好評をいただきました。

ボランティアで地域活性化を

昨年10月5日、胆振地区社協と胆振ボランティア連絡協議会が主催するボランティアネットワーク事業 ボランティアばんざい in 胆振がむかわ町で開催されました。

本年度は町ボ連協会員3名が研修に参加し、今地域に求められているボランティアと地域の活性化に向けたボランティアのあり方について考えました。



研修の様子

洞爺湖町老連女性部研修会を開催！

昨年11月21日、市内15の老人クラブで活動する女性会員が中心に参加し、女性部研修会が開催されました。

今回は、各单位クラブ同士の情報交換などができる場として、実践発表を行い、本町1区クラブ、睦会、入江クラブの3クラブが普段の活動等について発表しました。

また実践発表後、弁護士の芝垣美男さんから講演をいただきました。たいへん楽しいお話を聞かせていただき、会場からも、笑い声が溢れていました。



（研修会の様子）

こちらは洞爺湖町ボランティアセンターです！

ボランティアセンターってどんなところ？ - ボラセンの役割 -

昨年10月、洞爺湖町社会福祉協議会が設置している洞爺湖町ボランティアセンター（以下、ボラセン）では、ボラセンの機能性の充実と、地域のボランティアのさらなる発展と推進を目的に、ボラセン運営委員会を立ち上げ、発進しました。

ボラセンは、様々なボランティアの開拓や実践活動普及をはじめ、まちのボランティアの拠点となるような、登録による体制づくりと支援のほか、ボランティアとボランティアを必要とする方をつなぐはたらき、実践者や初心者のための研修や情報提供を行う役割を担っているところです。※図1

地域とボランティアがひとつになり、将来のまちの福祉増進を図っていく所存ですので、地域の皆さまにおかれましては、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

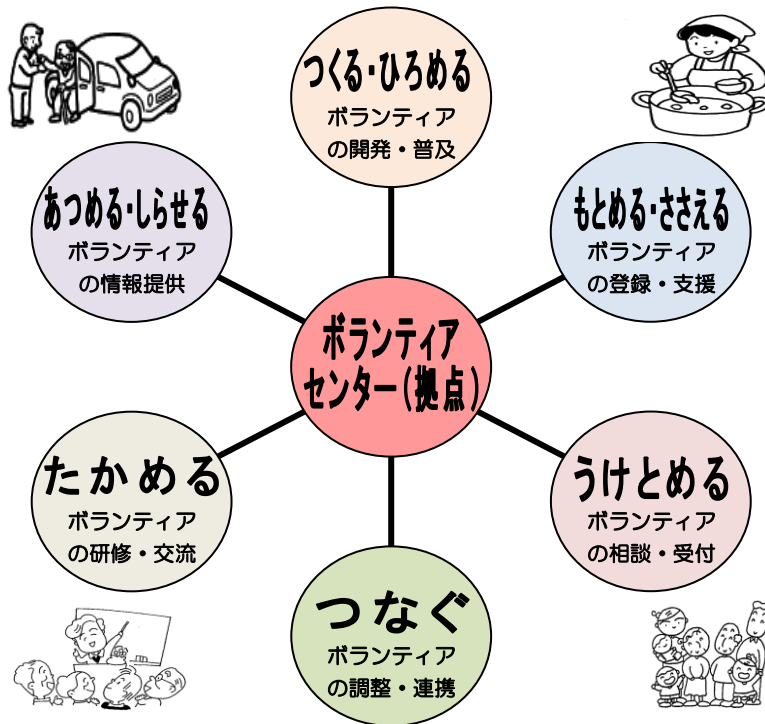


◇ボランティアに関する情報をお寄せください◇

地域で実践・活動されているボランティアやボランティア団体、グループ等の情報をお寄せください。ボランティア実践者相互の情報共有や現状の把握、課題や要望などの解決のために役立てたいと思います。また疑問やご意見、相談等がありましたら、気軽にお問合せください。

詳しくは、洞爺湖町ボランティアセンター本所:76-4363 / 洞爺支所:82-5185)へ。

図1 【洞爺湖町ボランティアセンターの役割】



◇リサイクル品を受け付けております◇

ボランティアセンターでは、古切手やリングブル、ペットボトルキャップ等のリサイクル品を受け付けております。

これらの善意の浄財は、随時町内または町外の各回収窓口へお届けしており（古切手は年1回、道外施設へ寄贈）ますので、ぜひお寄せください。

◇ボランティアセンターの課題◇

現在ボランティアセンター（以下、ボラセン）には、次の4つの課題があり、運営委員会において、今後ボラセンが推進していくべき具体的事業や研修会などのボランティア相互の意見、情報交換・交流ができる機会を増やしていく取り組みを協議・検討しています。今後のボランティア研修会等の開催の際には、気軽にご参加ください。

また既存の個人ボランティアやボランティア実践団体の把握を目的とした調査活動につきましても、随時実施していきたいと考えておりますので、ご協力のほど合わせてよろしくお願いいたします。

【洞爺湖町ボランティアセンターの課題】

- 1 ボランティアセンター登録制度の確立
⇒実態調査、既存の実践者等の把握
- 2 ボランティア実践者等への支援
⇒ボランティア連絡協議会との関わりや実践団体との連携など
- 3 災害ボランティアマニュアル等の整備
⇒ネットワーク構築や災害時支援など応用・併用ができるような体制を明確にしておくための模索
- 4 ボランティア研修会等の充実
⇒新規ボランティアの開拓と将来ボランティアが必要になったときにより支え合えるまちづくりのための模索

「ふれあいサロン」がはじまりました 「高齢者マップ」で声かけなどを強化

温泉2区自治会では、地域の皆さまに気軽に遊びに来ていただけるような、ふれあい・憩いの場を作りたいという思いから、9月より「だれでも参加できる ふれあいサロン」を開いています。

サロンでは、みんなで洞爺湖の昔の話をしてわいわいおしゃべりをしたり、ゲームや歌に合わせてタオルをつかって体を動かす、タオル体操をするなど、楽しい時間を過ごしています。

運営は温泉2区自治会女性部と福祉委員が協力して実施しています。

昨年12月の開催時には、クリスマスにちなんで、厚紙を切り抜いた飾りづくりなどをして楽しみました。

この日は地図を見て、温泉2区自治会内の道路や通りの名前など、知っていることを教え合ったり、歌いながら指を動かす体操などをしました。



かっこう台自治会では、高齢者のニーズにあわせた継続的な援助と交流活動の実践を目的に、自治会の役員さんや担当民生委員さんの協力のもと、平成24年度から自治会内の高齢者世帯等を対象に、ニーズ調査（希望や要望の聞き取り）やアンケート調査を実施し、高齢者マップづくりや、見まわりや声かけ訪問を強化できる体制づくりに取り組んでいます。

これにより、除雪や急病時の対応、災害時の対応など、地域のつながりと絆等々、自治会活動のあり方を見直すことができたといった成果があげられています。

今後は、地域の人たちが一緒になって食事会や交流できる場を少しずつ増やしていくことが課題です。



たくさんのご寄付ありがとうございました

平成25年9月5日～平成25年12月31日まで掲載

◆寄付金

小杉 徳芳 様	1万円	笠井 誠・寛子 様	2万円
中野 幸子 様	5千円	ななかまどの会	
匿名 様	10万円	会長 坂井 千枝 様	3万円
ウロコ(株) 虻田店 様	14,838円	(愛の小箱)	

◆リングブル

竹下コトミ 様	飯尾 利雄 様
大川 愛子 様	鈴木 ミツ 様
山平 ミツ 様	高田 生子 様
坂井 千枝 様	洞爺湖森林博物館様

◆ペットボトルキャップ

竹下コトミ 様	飯尾 利雄 様
大川 愛子 様	大西 信行 様
高田 生子 様	坂井 千枝 様
洞爺温泉病院様	洞爺湖温泉飲食店組合様
洞爺湖森林博物館様	

◆古切手

匿名 様	鈴木 ミツ 様	高橋 信一 様	甲野 佑篤 様
山内えい子 様	吉田シツ子 様	坂井 國勝 様	北山 勝二 様
西 イネ 様	坂井 千枝 様	虻田高校ボランティア局様	
洞爺湖町管理課様			

◆書き損じはがき
甲野 佑篤 様

◆タオル
竹下コトミ 様

◆雑巾
鈴木 ミツ 様

◆ 社会福祉協議会の広報「社協だより」にみなさんの声を ◆

社協の各種事業や活動、社協だよりなどについて日頃感じていることやご意見・ご感想をお寄せください。

社協だよりは、町民の皆さまからの「社協会費」と「赤い羽根共同募金」の助成金を活用し、発行しています。

(虻田高校ボランティア局様より古切手寄贈)

